



## 2016 IAF 年次ミーティング 参加報告(速報版)

2016年12月22日

永岡由紀(PJR) 岩本威生(JCQA)

齋藤哲也(JACO)

Jach

1



## 2016 IAF-ILAC Annual Meeting

### ■ 会議日程

2016年10月26日～11月4日

The Lalit – New Delhi (India)

10月26日－27日 WG/TF, CABAC

10月28日－29日 Technical Committee

10月29日 Competence of AB Assessors Workshop

10月30日－11月1日 IAF Executive Committee 他

11月2日& 4日 IAF General Assembly

11月3日 IAF-ILAC Joint General Assembly

← 本日の報告

### ■ 会議参加の目的

IAFの認証機関団体メンバーとしての発言権と責任を行使すると共に、  
JACH会員に対して、IAFを中心とした認証制度の最新情報を提供する

Jach

2



## 活動中のWG

- WG Management System Certification (ISO/IEC 17021)
- WG Product Certification Accreditation (ISO/IEC 17065)
- WG Person Certification (ISO/IEC 17024)
- WG Forests
- WG Food (ISO 22000)
- WG Medical Devices (ISO 13485)
- WG Greenhouse Gases (GHG) and Energy (ISO 14065)
- WG Information Technology Management Systems (ITSM) (ISO 20000)
- WG Information Security Management System (ISMS) (ISO/IEC 27001) MLA Scope
- WG Business Continuity Management Systems (BCMS)
- Auditing Practices Group and Accreditation Auditing Practices Group [APG and AAPG]
- JWG to Improve Accreditation Bodies Consistency

青字: JACBメンバー参加  
赤字: 今回は会議なし

Jacb

3



## 活動中のTF

- TF Competence of AB Assessors & Experts
- TF Multi-Site & MD1 (New)
- Joint IAF/ILAC TF Counterfeit Certificates
- TF Control of Entities Operating on behalf of Accredited Certification Bodies
- TF Conformity Assessment Scheme (CAS)
- TF OHSAS 18001 transition to ISO 45001
- TF CAAT MD4 (New)
- TF Transfers MD2 (New)
- TF Databases of Accredited MS Certifications
- TF Principles for Determining Duration of AB Assessments
- TF Transitions (new MD)

青字: JACBメンバー参加  
赤字: 今回は会議なし

Jacb

4



## WG Management System Certification (ISO/IEC 17021) ①

- ISO/TC 207/SC1からの文書 の紹介  
ISO 14001:2015が審査員に正しく理解されていないことの懸念
  - 「側面」と「リスク」の関係の誤解
  - 外部、内部の課題の理解不足
  - ISO14001は外部、内部課題の決定プロセスの文書化を要求しているといっている審査員がいる
  - 等々
- ◆ TC207/SC1のウェブサイトの「ISO14001支援文書」、「ISO14001FAQ」参照の要請
- ISO/TC 207/SC1からの要請に基づき、IAF ID10を改訂発行するか？  
⇒ すでに移行期間に入っており、移行が完了した組織もある状況を考えてIDを改正発行しても意味がないため、改訂しない。

Uach

5



## WG Management System Certification (ISO/IEC 17021) ②

- ISO/IEC17021-1移行に関する2015-14 Resolution(認定範囲内の非認定認証書発行の禁止)に対する追加事項を検討
  - CBは3年以内(2019年11月6日まで)に、認定下の認証文書への移行を完了しなければならない
  - 複数の認定を保持している場合は、どの認定のもとに認証文書を発行するかはCBが決定することができる。
  - 初回認定/スコープ拡大を受けた場合は、1年以内に認定下の認証文書への切り替えを完了しなければならない
  - 本決定事項はすべてのマネジメントシステム規格を対象とする
- ⇒ TCに提案、決定

Uach

6



## WG Management System Certification (ISO/IEC 17021) ③

- ディスカッションペーパー（詳細は後述参照）
  - WSC関連11件のうち、9件について議論
  - 残りの2件は次回フランクフルト会議にて扱う



## Accreditation Auditing Practices Group [ AAPG ]

- 10名が参加（AB関係8名、CAB関係2名）
- Alex Ezlachkovich氏は欠席、共同議長のFei Yang氏が進行。
- 既発行14件のレビュー状況
  - 12件レビューし更新済み、2件はレビューを終了し更新待ち
  - The witnessing of CAB audits by an accreditation body、Criteria for Competence of AB Assessors and Assessment Teamsをは、それぞれIAF MD 17:2015発行、IAF MD 20:2016発行に伴って見直し必要
  - 改訂作業中のISO/IEC17011の発行後に全件レビューが必要
- 新規提案
  - グッドプラクティスの収集と新文書編纂
- その他
  - ISO/IEC17021-1の9.6.3.2.4（認証の更新不可）、9.6.3.2.5（失効後6ヶ月以内の認証の復活）について意見交換
  - EA CCの要請にもとづくISO/CASCO の解釈紹介
- APG文書に関する議論はなし



## JWG to Improve Accreditation Bodies Consistency

- Marcus Long氏 (IIOB)による新規“Consistency Forum”の説明
  - “LinkedIn”を使用
  - TCメンバーの各機関代表1名のみが登録／参加可能  
事務局から該当者に対し、招待メール送付  
⇒ JACB枠は永岡氏(PJ)が登録
- “Consistency Forum”のルール概要
  - まず各CB協議会の中で問題を検討
  - 自分たちで解決できない場合、TC議長／副議長に提起したいトピックをメールし、承認を得る
  - 承認されたら、トピックをフォーラムにアップする
  - 議論に内容は事務局によってモニタリングされる
  - 議論のクロージングは、その後のアクションを含めTC議長／副議長が決定する

Uach

9



## JWG to Improve Accreditation Bodies Consistency

IAF Consistency Forum  
Unlisted • 6 members

Start a conversation with your group

Enter a conversation title.

Conversations Jobs

IAF Secretary

Principles of the Forum

- To support the aim of consistency through sharing knowledge.
- To help inform and improve understanding of policy and procedures.
- To provide a secure, controlled environment that enables sensible debate, support, and quality improvement of accredit... Show more

Test Conversation

Sample text.

View previous comments

IAF Secretary Test Lock

ABOUT THIS GROUP

The IAF Consistency Forum aims to support and encourage dialogue to achieve greater consistency amongst all operations. Please review the general instructions and Code of Conduct (found under 'Group rules') before participating in this forum.

MEMBERS

6 members

Use your smart phone apps via your dashboard

LinkedIn

Uach

10



## TF Multi-Site & MD1

- 第1回打合せでのコメント結果について討議
- 草案に対するコメントを検討し、原案の作成方針を合意。
  - 1) 認証費用を下げるため、見せかけの中央組織や、コンサルタント会社が中央組織となり、1つのマネジメントシステムで運用する形だけの複数サイトを防止する記述を盛り込む。
  - 2) MD1とMD19統合で発生する問題を総合的に考慮する必要がある以下  
の点について少数のTFメンバで検討をする。
- 原案に対しTFメンバーはコメントを提出後、Frankfurtで結論を目指す
- 具体的な複数組織の例に対し、工数計算の概念を明確化
- 2017年1月末迄に見直し案策定。(JACBIに参加要請有/齋藤さん参加)
- MD19適用時期変更; MD19適用は1年間延期とする提案をTC提案  
一決議事項として総会にかけることで合意  
適用日の変更; 2017年3月31日⇒ 2018年3月31日

Jach

11



## TF Transfers MD2 ①

- TCメンバーコメントをレビューし、ドラフトに反映
  - 移転の対象は、IAFまたは地域グループ(例:PAC, EA)のMLA署名AB  
による認定された認証機関  
⇒ 受け入れCBに元CBのABのMLA署名状況を確認する責任を明記
  - 移転前のレビューは、文書レビューと訪問が必須であることが明記され  
た。また訪問には、審査チームと同等の力量要求も明記された。(審査  
員である必要はない)
  - 前回の会議で結論を持越となった、移転前レビューとサーベイランス審  
査を同時に実施することを認めるかどうかについて、その後コメントが提  
出されなかったため、前回ドラフトのままになっている。
- 議長が修正箇所を確認し、IAFメンバー60日コメントに付す

Jach

12TC



## TF Transitions (New MD)

- フランクフルト以降、WebExでミーティング実施
- MDドラフトを策定中
  - スコープ／目的
  - 共通の移行に対する要求事項
  - タイムライン
  - 移行プロセス、手法
  - 移行ごとに決定が必要な追加要求事項
- ドラフト完成次第、TCメンバー30日コメントに回付予定



## TF OHSAS 18001 Migration to ISO 45001

- ISO 45001:20XXの開発状況
  - ISO/PC283がDIS2を作成中。  
2016年末ごろDIS2のコメント募集の見込み。
  - IS発行見込みーDIS2の投票結果次第
    - ① 2017年6月
    - ② 2017年末（FDISステージが必要な場合）
- IAF移行文書の開発状況
  - IAFメンバー60日コメント終了。
  - コメントを反映させた改訂ドラフト回付を、再度60日コメント募集。
  - 来年のフランクフルト会議前に最終版完成させ、TC議長承認の下に発行予定。
- TFからTCへの提案
  - OHSAS18001からISO45001の移行期限  
認証の移行期限:3年間 — 決議事項へ  
認定の移行期限:1年間 — 却下



## IAF Technical Committee (10/28-29)

### 主な議事次第

- WG/TF進捗報告(既報告)
- セクターリエゾン報告(省略)
- リエゾン報告(ISO・インターポール)(省略)
- 地域認定グループリエゾン報告(省略)
- ディスカッションペーパー
- その他



## ディスカッションペーパー ①

### 認定機関の認定審査員 (EFAC)

問題: CABの正社員または財務上利害関係のある立場にある人を、認定機関が認定審査員として雇用/契約することができるか?

結論: ABはCABの正社員を雇用することはできるが、利害抵触の可能性を認識し、CABへの通知を含めてそれを管理する必要がある。ISO/IEC 17011は、CABが認定審査員を拒否できるとしており、当該事例は拒否の正当な理由となりうる。



## ディスカッションペーパー ②

### 機密保持 (ACCREDIA)

問題: 認定機関は、認定審査中以外の時でも、審査員または組織に直接コンタクトし、CABから提供された情報を確認するといった自律的な調査を行うことができるか？

(審査日、訪問先など実際に審査が行われたかなどの確認)

結論: 認定機関は、審査中だけでなくその他の時でも、CABから提供された情報を確認するために審査員や組織に直接コンタクトするといった自律的な調査をすることができる。これは、CABとAB間の機密保持契約の違反にはあたらない。

Uach

17



## ディスカッションペーパー ③

### 認証範囲 (UKAS)

問題: 組織のマネジメントシステムの認証範囲に、他の基準・規格・実務指針 (Code of Practice)などを記載することはできるか？

例1: *The management and operation of waste collection services including vehicle and associated equipment maintenance service and repair. The operation of confidential waste shredding and disposal of associated waste products in compliance with BSEN 15713:2009.*

例2: *Collection, processing, and re sale of recyclable material. Security destruction, including mobile security destruction, in accordance with BS 15713:2009 Secure Destruction of confidential material-Code of Practice.*

結論: 認定された認証文書の認証範囲に、認定範囲外の規格・基準文書・実務指針 (Code of Practice)などを記載することはできない。

Uach

18



## ディスカッションペーパー ④

### 公平性－ (ACCREDIA)

問題： 認定機関は、CABが活動をアウトソースしている会社を直接審査することができるか？

(ISO 17021-1 5.2.8で、CBIはマネジメントシステムのコンサルティングを提供している組織に、審査活動をアウトソースしてはならない)

結論： CBの代わりに認証活動の一部を提供している(請負先)会社を審査することはできる。

ISO 17011 7.7.2およびIAF MD12を参照。



## ディスカッションペーパー ⑤

### 認定範囲拡大時の立会審査(TUNAC)

問題： 複数の専門コードを保持している審査員が1人しかおらず、その審査員の立会審査を複数回すでに実施しているような小規模のCBに対する新たなコード拡大の場合、またその審査員に対する立会審査を実施しなければならないか？

結論： MD17に規定されている通り。



## ディスカッションペーパー ⑥

### 認定された認証文書 (TUNAC)

問題： 認定された分野と認定外分野を含む組織に対する認証文書には、両方の認証範囲と認定機関シンボルの使用ができるのか？

結論： 認定された認証文書は明確で、誤解を招くものであってはならない。

決議事項14-2015に基づき、CBIは認定された分野に対しては、認定された認証文書を発行しなければならない。

認定範囲外の認証範囲を含む場合には、複数の認証文書が発行されなければならない。(つまり、認定された認証文書と非認定の認証文書をそれぞれの認証範囲に対して発行する必要がある。)



## ディスカッションペーパー ⑦

### ISO/IEC TS 17021-2:2012の移行(ANAB)

問題： ISO/IEC TS 17021-2:2012から、ISO 17021-2:2016への移行期間を2年間とする。

結論： 2016年決議事項として、総会で承認を得る



## ディスカッションペーパー ⑧

審査チームの専門分野の力量 (OAA)

問題： 専門分野のコードを保持している審査員が、専門性が必要なオペレーションプロセスの審査をし、専門コードのない別のチームメンバーが、HRや文書管理など専門性の必要性が低いプロセスを審査することは可能か？

結論： 可能である。

2014年に同様のディスカッションペーパーが提出され、すでに議論済みである。

Jach

23



## ディスカッションペーパー ⑨

審査日の長さ (OAA)

問題： MD5 1.8に基づき、1日の審査時間が昼食休憩を含んで「8時間」でもよいのか？

結論： MD5の箇条は単独で使用されるものではない。  
本件は2.2.1に説明されている。

MD5

- 1.8 審査人・日の長さは、通常8時間であり、昼食休憩を含むか否かは、現地の法律による。
- 2.2.1 (前半省略) 表QMS 1 及び表EMS 1 と同じ合計の審査人・日を確認するために移動、昼食休憩、及び就業時間に関する現地の法律を順守するよう、その国向けの日数調整が必要になる場合がある。

Jach

24



## TCからGAへの決議事項提案 ①

1. EnMSの認定スコープは、ISO 50003:2004の表2の技術分野を認定スコープおよびEnMSの立会セクターの要求事項とする。
2. OHSAS 18001:2007からISO 45001:20XXへの移行期間はISO 45001:20XX発行日から3年間とする。
3. ISO/TS 17021-2:2012の改訂版への移行期間は、改訂規格発行日から2年間とする。
4. IAF MD19の適用日を1年間延長し、2018年3月31日とする。



## TCからGAへの決議事項提案 ②

5. 認定されたマネジメントシステム認証文書は、認定機関のシンボルおよび/またはCBの認定状況を記載したものでなければならない。  
注記： 組織が正当として認めた場合は例外がありうるが、その場合でもその認証は認定対象とみなされる。

マネジメントシステムのCBは、認証文書に認定機関のシンボルおよび/またはCBの認定状況を記載したもののへの移行を、再認証時または(本決議事項の承認日)から3年後までに行わなければならない。



## 今後の会議予定

- 2017Mid-term会議  
2017年3月31日～4月7日 フランクフルト(ドイツ)
- 2017年年次総会  
2017年10月21日～30日 バンクーバー(カナダ)